

製品名: Gab 1 (リン酸化 Tyr659) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04716**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	76kDa

抗原情報

遺伝子名	GAB1
別名	GAB1; GRB2-associated-binding protein 1; GRB2-associated binder 1; Growth factor receptor bound protein 2-associated protein 1
遺伝子 ID	2549.0
SwissProt ID	Q13480
免疫原	抗血清は、ヒト GAB1 の Tyr659 のリン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 644-674

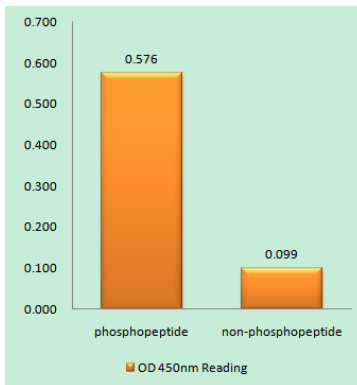
背景

GRB2 関連結合タンパク質 1 (GAB1) Homo sapiens この遺伝子によってコードされるタンパク質は、IRS1 様多基質ドッキングタンパク質ファミリーのメンバーです。これは分岐管形成の重要なメディエーターであり、細胞の増殖応答、形質転換、アポトーシスにおいて中心的な役割を果たします。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2008 年 8 月]機能: おそらく EGF およびインスリン受容体のシグナル伝達に関与しています。PTM: 上皮成長因子受容体 (EGFR) およびインスリン受容体 (INSR) によってチロシン残基がリン酸化されます。GAB1 のチロシンリン酸化は、SH2 ドメインを含むいくつかのタンパク質との相互作用を媒介します。類似性: GAB ファミリーに属します。類似性: 1 つの PH ドメインを含みます。サブユニット: GRB2 および他の SH2 含有タンパク質と相互作用します。リン酸化 LAT2 と相互作用する。

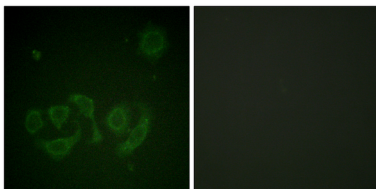
研究分野

ErbB_HER;神経栄養因子;腎細胞癌;

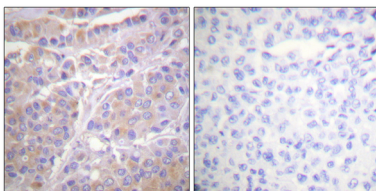
画像データ



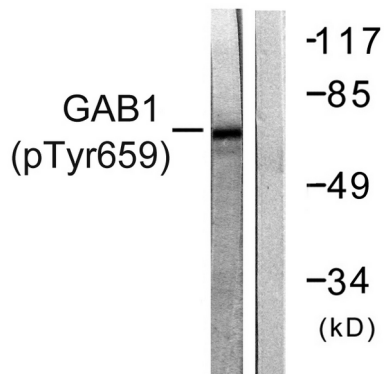
GAB1 (リン酸化 Tyr659) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



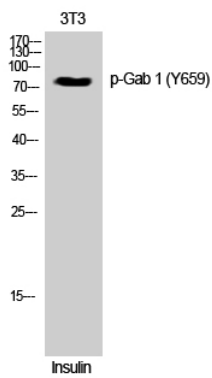
GAB1 (リン酸化 Tyr659) 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右レーンには GAB1 (リン酸化 Tyr659) ペプチドでブロッキングされている。



GAB1 (リン酸化 Tyr659) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。右の写真は GAB1 (リン酸化 Tyr659) ペプチドでブロッキングした画像です。



GAB1 (リン酸化 Tyr659) 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンが GAB1 (リン酸化 Tyr659) ペプチドでブロッキングされている。



リン酸化 Gab 1 (Y659) ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析